

2009年10月14日
東芝ファイナンス株式会社
東日本旅客鉄道株式会社
東芝プラントシステム株式会社

社員証も、通勤も、買い物も、これ一枚で。

東芝ファイナンスが「Suica 付社員証」を導入します

東芝ファイナンス株式会社(代表取締役社長 河井 信三、本社 東京都中央区、以下「東芝ファイナンス」)は、今年11月の本社ビル移転に併せて、「ICカード社員証」と「Suica(定期券・乗車券および電子マネー機能)」が一体化した「Suica 付社員証」を導入いたします。東日本旅客鉄道株式会社(代表取締役社長 清野 智、本社 東京都渋谷区、以下「JR 東日本」)がカードの発行を行い、東芝プラントシステム株式会社(取締役社長 石井 哲男、本社 東京都大田区、以下「東芝プラントシステム」)が発行データの管理・連携および導入をサポートします。

「Suica付社員証」は、「ICカード社員証」と「Suica」が一体化になったものです。この2つの機能を一体化させることにより、定期券・乗車券としての利用(定期券情報は裏面に印字)や、電子マネーとして駅ナカ、街ナカのSuica電子マネー加盟店での利用はもちろん、「ICカード社員証」の個人認証機能を用いて「入退室管理」や「プリント制御」などが可能になります。

これにより、東芝ファイナンスの社員は社員証1枚で、自社ビルへ入退出する際のセキュリティカードとして、また、定期券や乗車券、Suica電子マネーとしての利用ができるようになります。

東芝ファイナンスは今回の社員証を活用した機能として、プリント制御、パソコンへのログインシステムなど、「ICカード社員証」の個人認証機能を用いたソリューションを、本社ビルに導入してまいります。特に、プリント制御機能は、導入することで従来のFAX、プリンタ、複合機の台数や印刷紙枚数を大幅に削減することが可能になり、大きなコストメリットの実現が見込まれております。(別紙参照)

Suica付社員証(券面イメージ)

[表面]



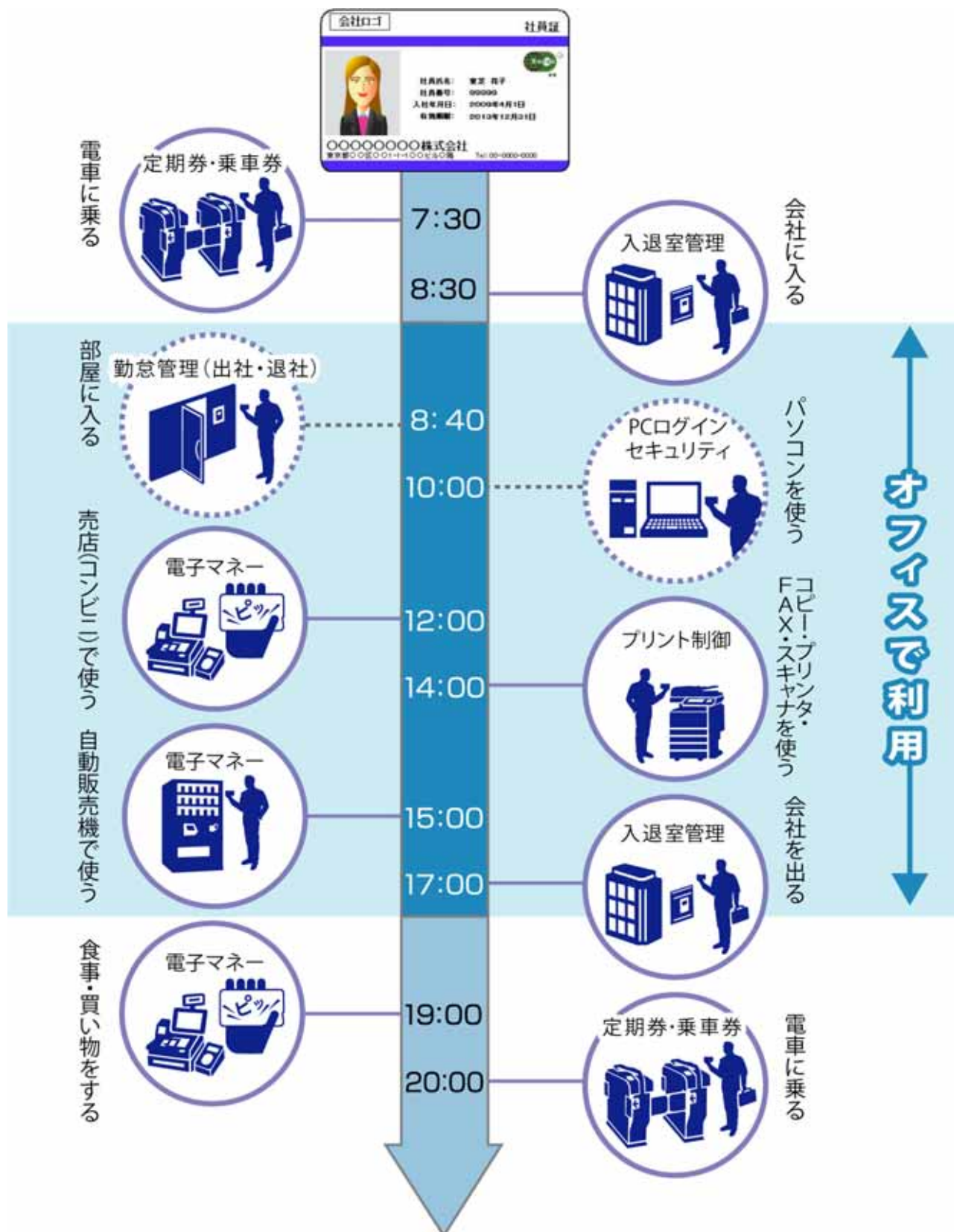
[裏面]



Suicaは東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です

東芝ファイナンス Suica付社員証導入イメージ

今回、導入する「Suica付社員証」は、1枚のカードで、身分証、個人認証機能、定期券・乗車券機能、電子マネー等々のマルチな機能を装備したオールインワンカードです。東芝ファイナンスの社員は、出勤時には定期券・乗車券機能で電車を利用し、オフィスでも自動販売機、売店での買い物など、様々なシーンで利用できます。また、個人認証機能を活かして、入退社時のセキュリティー、プリンタ制御など、幅広い用途での利用が可能になります。



実線内は今回の導入で東芝ファイナンスの社員が使える機能です。点線内は、今回導入いたしません、将来的に導入を検討している機能です。

売店での利用は本社ビル内にあるコンビニを想定しています。